

ひずみ変化と推定されるゆっくりすべり領域

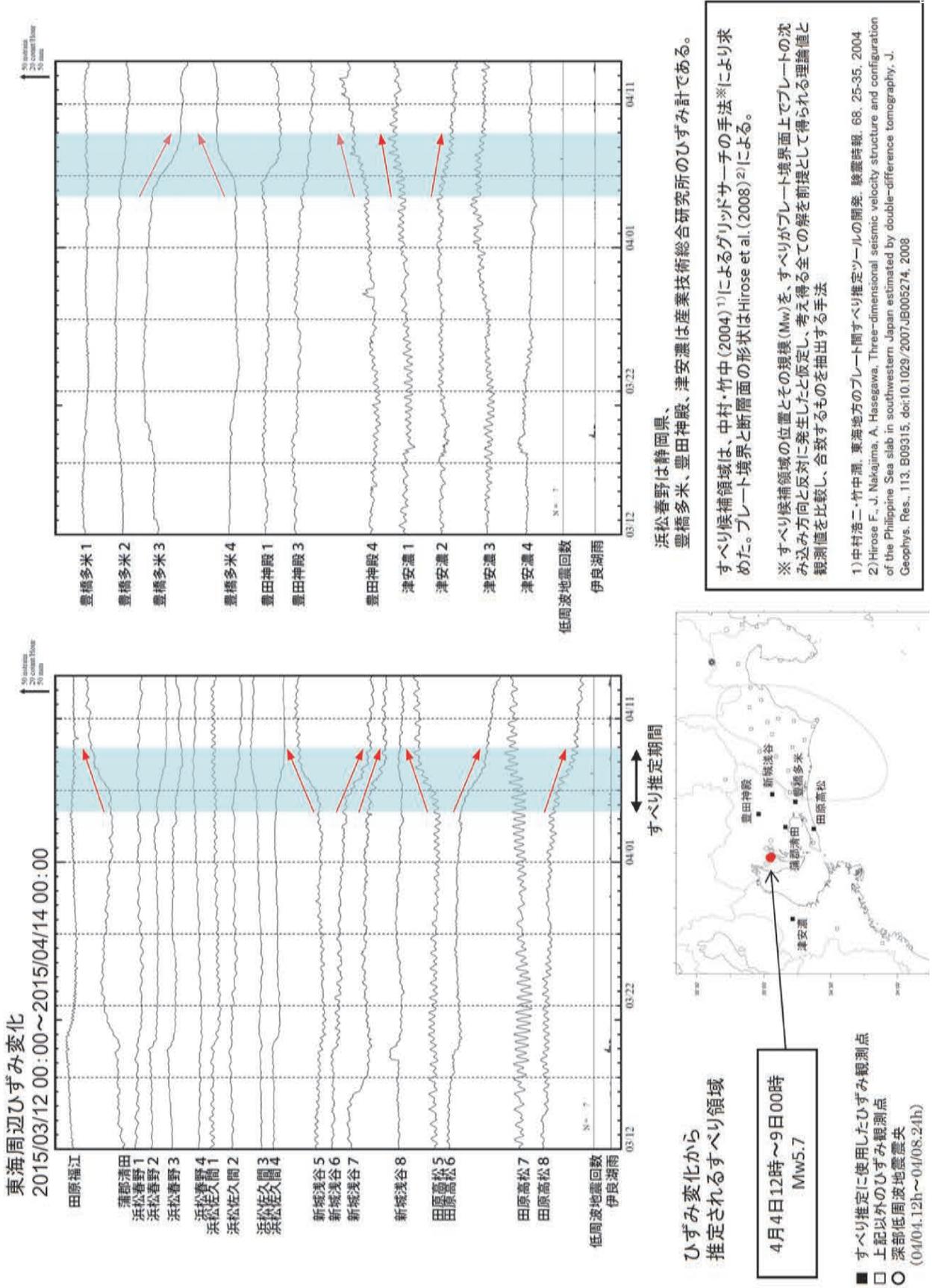


図7 ひずみ変化と推定されるゆっくりすべり領域（4月4日から4月8日）

ひずみ変化から推定されるすべり領域

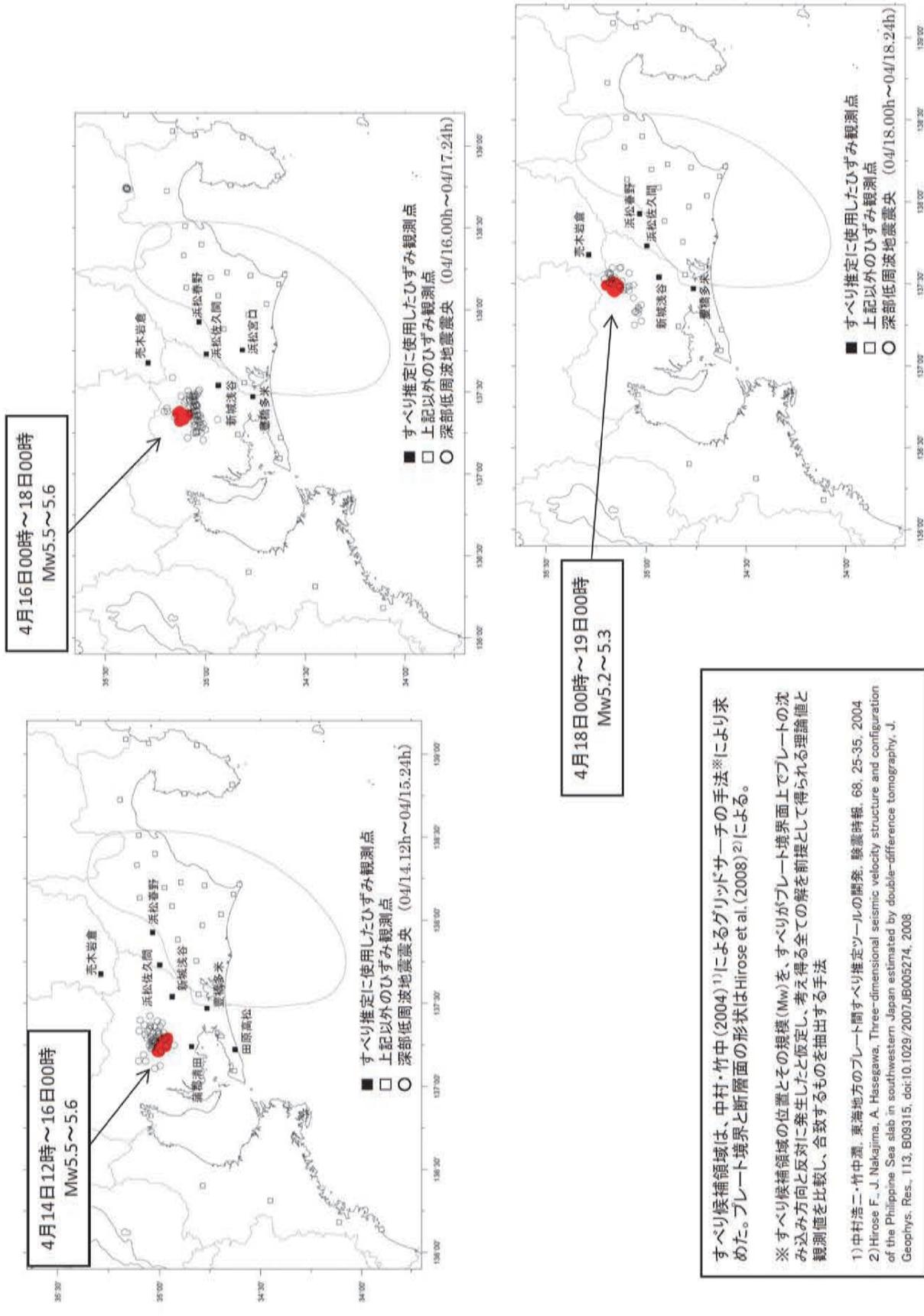
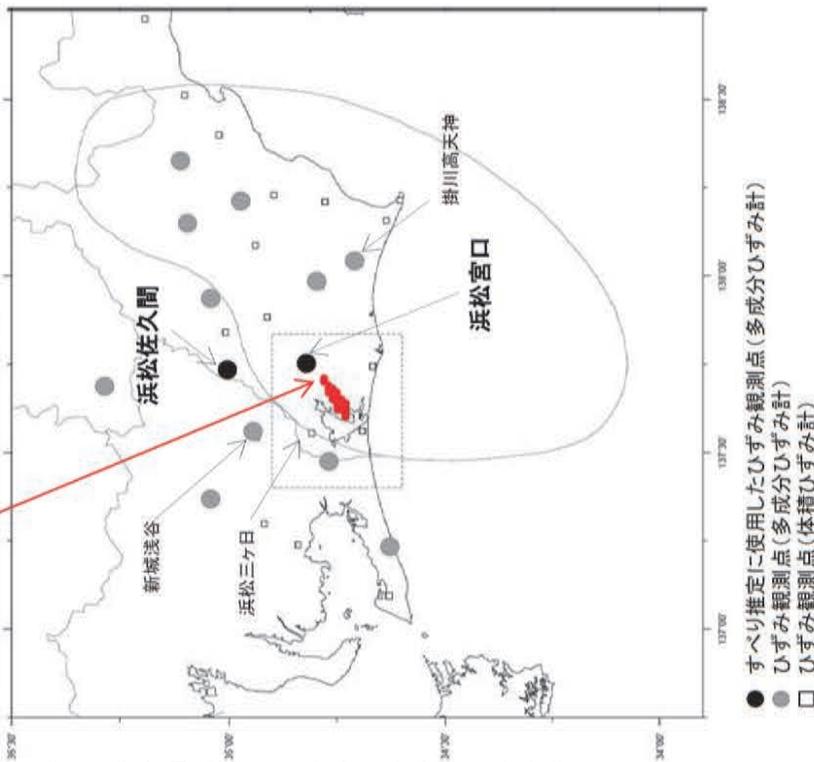


図9 推定されるゆっくりすべり領域（4月14日から4月19日）

ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定

ひずみ変化から推定されるすべり候補点

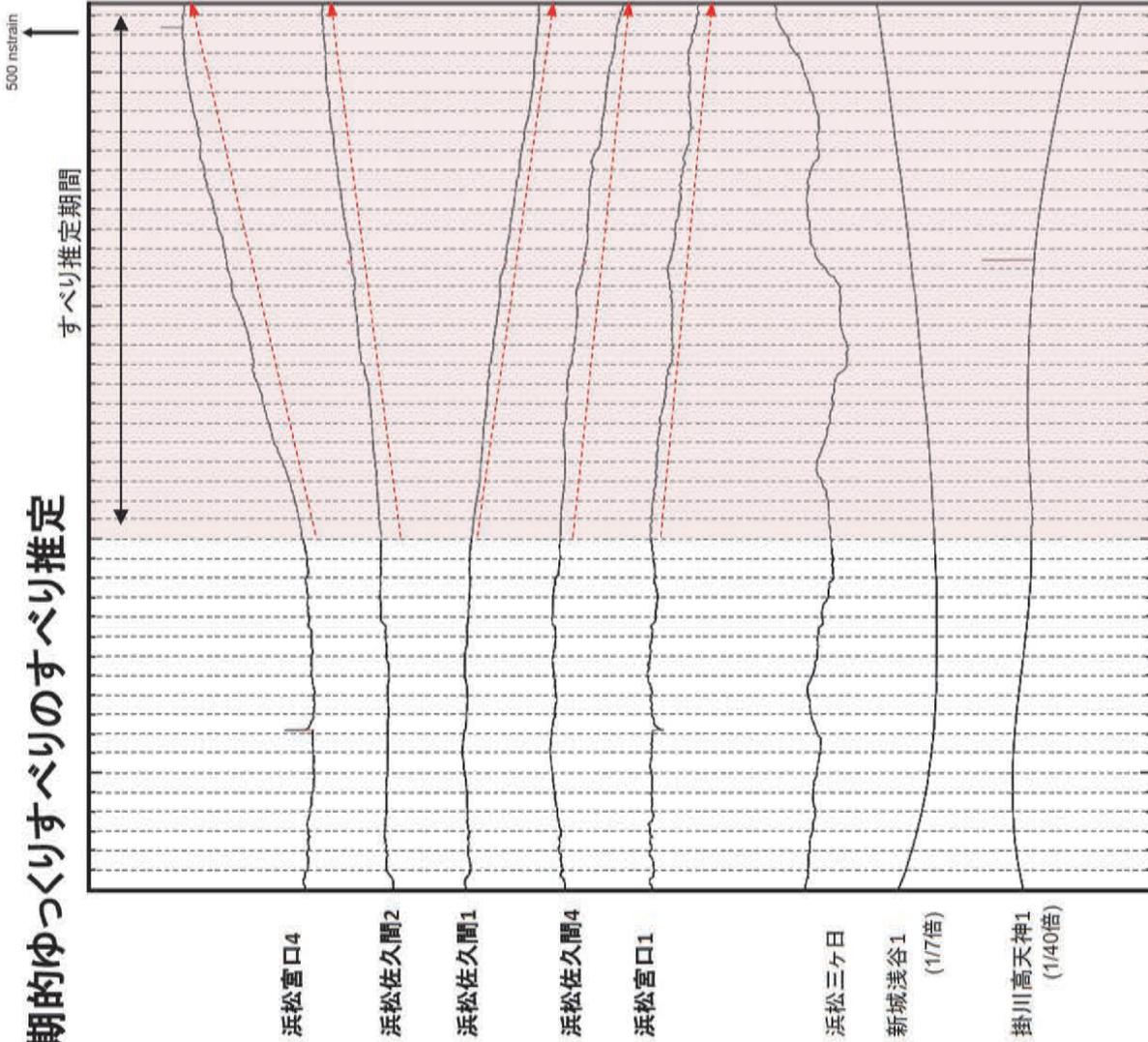
Mw6.3~6.7程度



すべり候補領域は、中村・竹中 (2004)¹⁾によるグリッドサーチの手法※により求めた。プレート境界と断層面の形状は Hirose et al. (2008)²⁾による。

※ すべり候補領域の位置とその規模 (Mw) を、すべりがプレート境界面上でプレートの沈み込み方向と反対に発生したと仮定し、考え得る全ての解を前提として得られる理論値と観測値を比較し、合致するものを抽出する手法

1) 中村浩二・竹中潤, 東海地方のプレート間すべり推定ツールの開発, 地震時報, 68, 25-35, 2004
 2) Hirose F., J. Nakajima, A. Hasegawa, Three-dimensional seismic velocity structure and configuration of the Philippine Sea slab in southwestern Japan estimated by double-difference tomography, J. Geophys. Res., 113, E09315, doi:10.1029/2007JB005274, 2008



気象庁作成

図 10 ひずみ変化と長期的ゆっくりすべりのすべり推定